2025年度 第2回有識者会議 開催報告

開催概要

- 日時: 2025年9月29日(月) 13:00-16:00
- 開催形態:オンライン (Teams)
- 参加者 (敬称略) :
  - 【座長】荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター)
  - 水野 正明 (名古屋大学)
  - 加藤 浩晃 (デジタルハリウッド大学)
  - 安部 聡 (ボストンコンサルティンググループ)
  - 柴山 政明 (名古屋大学)
- 欠席者(敬称略)
  - 大高 洋平 (藤田医科大学)
  - 江口 満 (厚生労働省)
- 次第:
  - 開会
  - はじめに
  - 社会実装先行事業の中間チェックイン
  - 今後の進め方
  - 閉会

有識者より頂戴したご意見

基盤構築事業

- ポータルサイトでは、スマートフォンアプリをDL/利用可能な高齢者を対象に、健診を起点としたサービス利用の好循環を創出し、自然と健康になれる体験を通じて健康寿命延伸とQOL向上を目指すことを合意
- あいちDH全体としての提供価値を明確にするため、それぞれのサービスが保有・必要とするデータを整理し、相互連携の可能性を踏まえて全体最適の方向性を検討していく必要

社会実装先行事業

- 先行事業者の25年度の実証の進捗および、26年度の社会実装の計画への質疑とご意見を頂戴した (詳細議論は非公開)
  - 各事業において、解決すべき社会課題と中長期のビジョンを明確化した上で、現在のサービスが実現ステップのどこに位置づくかを整理する
  - 機能の差異が顧客価値とは限らず、導入・運用にかかる負荷を含めた総合的な提供価値を、事業者に正しく理解してもらう必要
  - サービスの利用者と支払い主体が異なるケースを想定し、Payerの定義と支払い意欲・意思決定要因の把握が重要
  - 各事業が持続可能なビジネスとして成立するかが重要であり、必要収益やユニットエコノミクスの成立条件を具体的に検討する必要